

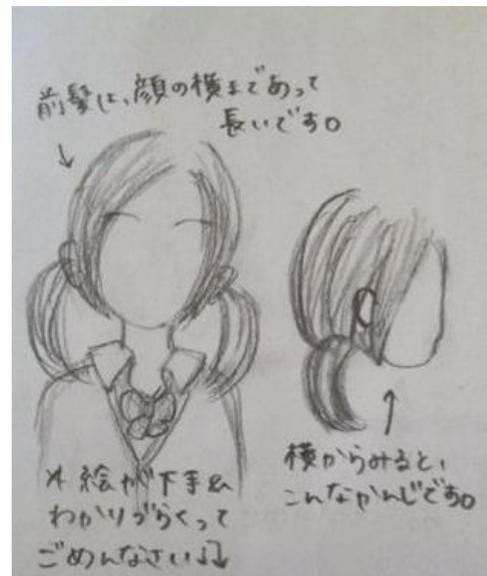
準備は OK？ 進路写真撮影

いよいよ来週月曜日、進路写真撮影が行なわれます。『進路写真』とは、公立高校・私立高校などに出願する際に願書に添付する大切な写真です。

高校の試験官にとって、受験生の第一印象は「願書の文字」と「願書に貼られた写真」です。下見のときの様子、入試当日の様子、面接、下校の様子など、いろいろな場面で受験者を見ていますが、実物を見る前の「文字と写真」がみんなとの最初の出会いになるわけです。「中身がしっかりしていれば、見た目は少しぐらい…」は通用しません。中身がしっかりしていれば、見た目も当然しっかりしているはずです。現在中学校で生活している際に、先生方を見て、「え？」と違和感を感じるということは、高校の先生方から見ても当然、同様に思われると考えましょう。ましてや、受験生として『選ばれる立場である』という自覚があれば、決してマイナスのイメージを持たれないように細心の注意を払って臨むことは当たり前のことです。写真を撮るから直すのではなく、日頃から意識して過ごしましょう。靴下のずり下がり、派手な色なども大丈夫ですか？

【以下の項目で、できていないところは必ず直すこと】

- だらしない印象や、派手な印象を与えていないか
- 髪が乱れていないか(茶髪・パーマ・整髪料などは論外です)
- 前髪で目が隠れていないか、さっぱりした髪型か
 - ※前髪が斜めになっていたり、ガタガタになっている なども
- 髪が耳を隠していないか・襟にかかっているか(男子)
- 髪が肩にかかっているか・長い場合縛ってあるか(女子)
- 眉毛をいじっていないか(抜く・剃るなど)
- 制服のボタンはついていないか、つぶれていないか
- ワイシャツの第一ボタンはとまっているか
- 制服によごれはないか、やぶれていないか
- ワイシャツの袖ボタンがとまっているか
- 名札をしっかりとつけているか
- アクセサリー類をつけていないか、化粧はしていないか
- 胸ポケットにペンや櫛などをさしたりしていないか
- 試験の時にめがねをかける人はめがねをかけて撮影する(身分証明の役割も)



上記以外でも自分で気がついたことはきちんと整えて撮影に臨みましょう。もちろん横の髪の毛が少しだけ垂れ下がっている(触覚ヘア)…ということはありません。顔を髪の毛で隠さないというのがポイントです。

残念ながら当日までに直してあげることができなかった場合には、家庭で写真を準備してもらうこととなります。プロのカメラマンの方に(当然今までたくさんの3年生の撮影をしてきた方ですので一番いい姿を撮影できるように尽力してくれます) みんなと共に撮影してもらえようにしましょう。